Love Earth. Love Life.
雪印メグミルク

News Release

2025 年 8 月 1 日

# 雪印メグミルク バター製造開始 100 周年記念式典を開催

## 2025 年 7 月 25 日（金）札幌にて

雪印メグミルク株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：佐藤 雅俊）は、2025 年 7 月 25 日、バターを初めて製造した製酪所のある札幌市厚別区上野幌（雪印種苗株式会社敷地内）にて、バター製造開始 100 周年記念式典を開催いたしました。

1925 年（大正 14 年）5 月 17 日、雪印メグミルクの前身の一つである「有限責任 北海道製酪販売組合」が、農民による農民のための組織として設立されました。
同年 7 月 25 日、のちに雪印乳業の初代社長となる佐藤貢が、上野幌の製酪所で手回しのチャーン（バター製造機）を使い、たったひとりでバターづくりを始めました。

このたび、北海道酪農および当社創業にゆかりの深い方々をお招きし、当社がバターを初めて製造した日から 100 年となる節目を記念して式典を執り行いました。また、7 月 25 日を「雪印北海道バターの日」とし、一般社団法人日本記念日協会に申請・登録したことも披露しました。
製酪所の建物は、1981 年に「雪印バター誕生の記念館」（経済産業省 近代化産業遺産）として再現・保存されており、創業 100 周年にあたり補修工事を施し、式典にご参加いただいた皆様に見学いただきました。

式典では、代表取締役社長の佐藤より、長年のご支援・ご愛顧への感謝の意と、今後の 100 年も社会の「食」を支え続ける使命を胸に、「食の持続性の実現」という大きな社会課題に真摯に取り組む決意を、改めてお伝えしました。

これからも雪印メグミルクグループは、私たちの「存在意義・志」である「健土健民」の精神のもと、お客様の健康寿命延伸による「幸せな時間づくり」と、「乳を超えた食文化づくり」に努めてまいります。

左：創業の頃使用していた手回しの木製バターチャーン
右：商品パッケージ （上）1926 年当時・（下）2025 年

左：来賓・当社グループ役員による記念撮影
右：「雪印北海道バターの日」登録証と佐藤社長
※いずれも「雪印バター誕生の記念館」の前にて

■「雪印北海道バターの日」について

雪印メグミルクの前身の一つである「有限責任 北海道製酪販売組合」が、7 月 25 日に初めてバターを製造したことにちなみ、この日を「雪印北海道バターの日」として、一般社団法人 日本記念日協会へ申請し、記念日として登録されました。

「雪印北海道バター」ブランドサイト　https://www.meg-snow.com/hokkaido-butter/

■「雪印バター誕生の記念館」

1925 年（大正 14 年）5 月 25 日に設立された「有限責任 北海道製酪販売組合」は十分な資金がないなか、初代組合長理事・宇都宮仙太郎の娘婿である出納陽一の製酪所を仮工場として、バターの製造を開始しました。

この仮工場は真新しく、沢の傾斜地を利用した半地下構造となっており、沢の湧水を引いた井戸が原料クリームの貯蔵に好適な環境をもたらしていました。

雪印種苗株式会社本社の敷地内にある仮工場の建物は、1981 年に「雪印バター誕生の記念館」として再現され、2008 年には経済産業省の近代化産業遺産に登録されました。

■お客様からのお問い合わせ先

雪印メグミルク株式会社　お客様センター　0120-301-369（年中無休 9:00～17:00）

【 雪印メグミルク ウェブサイト：https://www.meg-snow.com 】


| 本件に関する報道機関からのお問い合わせ先 |
| --- |
| 雪印メグミルク株式会社<br>広報ＩＲ部　広報グループ<br>TEL 03-3226-2124　FAX 03-3226-2150<br>E-mail msb-pr@meg-snow.com |